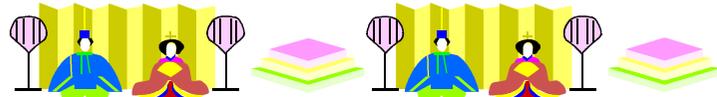




国内政治の動きや、世界情勢を見渡すと、先行きの見えにくさを感じる場面が増えていきます。大人の社会ですら答えを探し続ける時代だからこそ、日々の学びや積み重ねといった「変えない姿勢」が、これまで以上に大切になっているように思います。そして、そんな姿勢に新たな目標を乗せていくと、更なる希望の景色が見えて来るはずです。今月から、新年度新学期です。新たな目標を持って力強い一歩を踏み出そう!!



●変わるもの、変えないもの

三月を迎え、教室の空気にも少しずつ変化が表れてきました。一足早く新学年に進級して、これまで当たり前だった日常が、静かに切り替わっていく時期です。前に進む実感を持つ人もいれば、まだ気持ちの整理が追いつかない人もいるでしょう。春は、誰にとっても同じ速さでやってくるわけではありません。学年が変わること、環境が変わること、求められる役割が変わること。それらは、誰にとっても避けられない変化です。新しい教科書、新しいクラス、新しい人間関係。期待と同時に、不安が生まれるのも自然なことです。変わること自体は、決して悪いことではありません。むしろ成長の多くは、こうした変化の中で生まれていきます。

今月の予定



- 2日 (月) 新年度開講
 - 2日…府立高校特別選抜合格発表
 - 11日…府立高校一般入試
 - 19日…府立高校合格発表
 - 23日…合格祝賀会 (予定)
- ※お友達紹介キャンペーン
継続中!! [特典がいっぱい!]
是非ご紹介ください!!

塾長の弦きブログ



一方で、どれだけ周囲が変わっても、変えなくていいものがあります。それは、学びに向かう姿勢です。分からないことから目をそらさず、一つずつ向き合い、今日できることを積み重ねていく。派手さはありませんが、この姿勢こそが、次のステージでも確かな力になります。

新しい学年になると、「何か新しいことを始めなければ」と気持ちが焦ることもあるかもしれません。周りと比べてしまったり、出遅れているように感じたりすることもあるでしょう。

けれど、特別なことを始める必要はありません。

これまで続けてきたことを、これまで通り続ける。その積み重ねがある人は、すでに十分な準備ができています。変化の中でも、自分の軸を持ち続けることが、結果的に一番の近道になることも少なくありません。保護者の皆さまにとっても、この時期は見守り方に迷う場面が増えるかもしれません。環境が変わるほど、子どもは内心で不安を抱えやすくなります。「今、何をしているのだろう」「このままで大丈夫なのだろうか」そんな思いがよぎることもあるでしょう。そんなときこそ、大人が変わらずそこにいること、同じ距離で見つめ続けることが、子どもにとって大きな安心になります。

言葉を増やすよりも、日常を変えないことが力になる場面もあります。

春は、新しいスタートの季節と言われます。けれど実際には、これまで積み重ねてきたものを次の時間へ引き継いでいく季節でもあります。変わるものと、変えないもの。

その両方を大切にしながら、それぞれの新しい時間を迎えてほしいと思います。

ここから始まる日々は、これまでの努力の延長線上に、静かにつながっています。